

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	路線バス運行補助金						2担当課名	企画政策課	
3予算科目	款	2	項	1	目	7	事業コード	0228	
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無						
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市生活交通路線維持補助金交付要綱				
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助			
8交付先分類	c特定団体(その他)								
9交付先	バス事業者								
10補助金の目的	裾野市における生活交通路線を維持するため								
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	生活交通路線の維持								
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	バス路線の運行								
13積算根拠の有無	有								
14積算の考え方 計算式	欠損額に2分の1を乗じて得た額								
15補助対象経費の設定の有無	無								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金	
その他補助対象の項目									
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足						
団体									
人数									
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)				
	27年度	28年度	29年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	2,913	3,205	3,800						
合計	2,913	3,205	3,800						
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足						
補助金									
助成金									
市	2,913	3,205							
その他	0	0							
事業収入	3,868	3,433							
会費(自己負担等)	0	0							
繰越金	0	0							
その他	0	0							
合計	6,781	6,638							
市の補助金の割合	43%	48%							

補助金名称	路線バス運行補助金	担当課名	企画政策課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	路線バス運行補助金	担当課名	企画政策課
-------	-----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	補助対象事業自体が公共的側面が大きいため、補助をしな いために事業廃止というわけにはいかない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	生活交通路線の維持
2達成状況	生活交通路線を維持できている。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	単独維持困難が提出された路線について、廃止とはならず維持できているため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	路線バスは公共性の高いものであり、市民の移動手段として継続して維持していく必要があるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	車両購入補助金						2 担当課名	企画政策課		
3 予算科目	款	2	項	1	目	7	事業コード	0228		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	0	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	無		例規名称							
6 性質別分類①	0				7 性質別分類②	b 事業費補助				
8 交付先分類	c 特定団体(その他)									
9 交付先	バス事業者									
10 補助金の目的	地域住民の日常生活に必要な交通手段の確保を図るため									
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	生活交通路線の維持									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	バス車両の購入									
13 積算根拠の有無	無									
14 積算の考え方 計算式										
15 補助対象経費の設定の有無	有									
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	車両本体価額									
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足							
団体										
人数										
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27 年度	28 年度	29 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	0	0	0							
合計	0	0	0							
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足							
補助金	市	0	0							
助成金	その他	0	0							
事業収入		0	0							
会費(自己負担等)		0	0							
繰越金		0	0							
その他		0	0							
合計		0	0							
市の補助金の割合										

補助金名称	車両購入補助金	担当課名	企画政策課
-------	---------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	→	2見直した年度	年度
3内容			

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか		
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか		
③広く市民生活の向上に貢献するか		
④市民ニーズが高い事業か		
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか		
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)		
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か		
⑧最適な補助対象か		
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか		
⑩目的や目標を適切に設定できているか		
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか		
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか		

補助金名称	車両購入補助金	担当課名	企画政策課
-------	---------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか		
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)		
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか		
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか		
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか		
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か		
⑦類似した補助金はないか		
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)		
⑨再補助(交付先が再補助)はないか		
⑩履行確認は、適切にできているか		

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	生活交通路線の維持
2達成状況	

3補助効果の評価	
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	c廃止する		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由	事業者からの申請により補助しているが、数年来補助は実施されていない。事業者より車両購入による補助の申請があった際に復活。	その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29年度

1補助金名称	地下水採取者協議会補助金				2担当課名	企画政策課							
3予算科目	款	2	項	1	目	8	事業コード	0225					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H20	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市地下水採取者協議会補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	a運営費補助							
8交付先分類	b特定団体(市事務局)												
9交付先	裾野市地下水採取者協議会												
10補助金の目的	裾野市における地下水の適正な利用、保全等に資するため。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員の地下水利用に際する資質の向上。 会の健全な運営により図られる水資源の適正な利用。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	会員の資質向上のための研修、講習等に関する事業。 会員相互の連絡に関する事業。												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	一律												
15補助対象経費の設定の有無	有												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	研修、講習等にかかる費用 会員相互の連絡に関する事業(文書郵送料)												
17団体等の構成員数	27年度	28年度	補足										
団体	1	1	32事業所で構成される1団体										
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27年度	28年度	29年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	10	10	10										
合計	10	10	10										
19団体・事業の財務内容	27年度	28年度	補足										
補助金	市		10	10									
助成金	その他		0	0									
事業収入			0	0									
会費(自己負担等)			125	126									
繰越金			402	494									
その他			5	0									
合計			542	630									
市の補助金の割合			2%	2%									

補助金名称	地下水採取者協議会補助金	担当課名	企画政策課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	市の補助金額はわずかであり、直ちに影響は出ない。
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	地下水採取者協議会補助金	担当課名	企画政策課
-------	--------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	地下水が枯渇するまで続く協議会であり、枯渇しないように活動している協議会であるため、補助金の終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	予算の範囲内で例年1万円を補助している。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	△	繰越金が多く残っている。
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員の地下水利用に際する資質の向上。 会の健全な運営により図られる水資源の適正な利用。
2達成状況	適正な地下水利用が図られている。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	協議会による地下水利用の保全に係る啓発活動等により、適正な地下水利用が図られているため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	地下水の適正な管理は行政が果たすべき責務でもあり、協議会を通じた行政と地下水採取者との連携は必須であるため。協議会の活動を行政としても支援する意味で現行のまま継続すべき。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	市統計調査員連絡協議会補助金				2担当課名	企画政策課							
3予算科目	款	2	項	5	目	1	事業コード	0266					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市統計調査員連絡協議会補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	a運営費補助							
8交付先分類	b特定団体(市事務局)												
9交付先	裾野市統計調査員連絡協議会												
10補助金の目的	会員の資質向上のための研修、相互の連絡提携および親睦をはかるため。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員の統計調査資質の向上。調査員の確保。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	統計勉強研修会、統計視察研修												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	一律												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	1	1											
人数	37	38											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	205	205	205										
合計	205	205	205										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金 助成金	市	205	205										
	その他	120	120										
事業収入	0	0											
会費(自己負担等)	41	82											
繰越金	141	160											
その他	0	0											
合計	507	567											
市の補助金の割合	40%	36%											

補助金名称	市統計調査員連絡協議会補助金	担当課名	企画政策課
-------	----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	△	統計調査は市民ニーズを計るために必要な基礎資料を集める調査である。
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	市統計調査員連絡協議会補助金	担当課名	企画政策課
-------	----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	統計調査の手法が変わらない限り、正確な調査と調査員の確保を図るうえで必要な組織として支援する考えである。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	研修の内容によって必要額が異なるため、繰越金などの状況を踏まえて予算計上している。
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	会員の統計調査資質の向上。調査員の確保。
2達成状況	適切な統計調査が行われている。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	登録調査員基準数と同等の調査員を確保できているため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	登録調査員数は年々減少し、高齢化も問題である。協議会活動は調査員を確保・維持するために今後、より必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			